

グループ訪問型総合学習(2)

DATA

場 所：福島県杉妻小学校学区内地域
 実 施 者：福島工事事務所 地域づくり推進室 [TEL(024)546-4331]
 参 加 者：福島市立杉妻小学校第2年生1組～4組 138名
 実 施 日：平成13年6月

関係する分野



背景

自分達の住んでいる地域に関心を持ってもらい、地域の人とふれ合いながら、児童たちに率先して町のことを学んで行ってもらおうと、グループ訪問型学習が実施されました。「国土交通省って何だろう。どんなことをやっているのか見てみたい」という声もあり、実習を通して国土交通省が行っている公共事業に興味をもってもらう機会となりました。

内容

児童がグループを組み、南福島駅コース、青少年会館コース、鳥谷野コース、春日神社コースの4つの中から選んだ地域の町探険を行い、自然やいろいろな店、施設を訪ね、地域の人々とふれ合いながら、自分達の町に関して見たり聞いたりしたことをまとめました。



防災センターでは、初めて聞くことだらけ



わからないところは、積極的に質問!

ポイント

○国土交通省は、国道や川の安全のために仕事をしているということを児童たちに学ぶことができます。また、探険結果をまとめたことで、見学に行かなかった児童にも知ら

せることができます。

○身近なところにある役所では、こんな仕事をしていただということを知らせてもらうことができます。

成果

施設内の整備に新鮮な驚きを感じ、町の道路や川などの安全のために、沢山の人がいろんな方法で頑張っていることを感じる事ができました。実習によって国土交通省に対する関心が高まり、「また行ってみたい」「僕達も行ってみたい」という児童の声が多く、今後の実習へつながる大きな一歩を踏み出すことが出来ました。

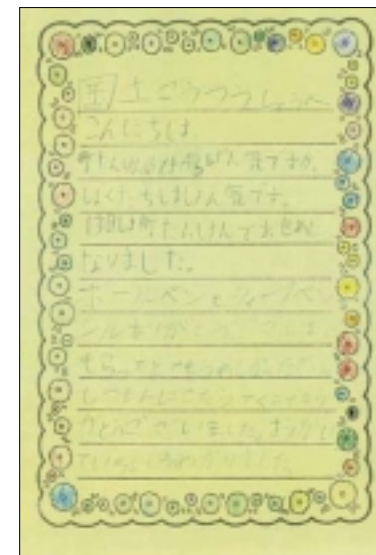
参加者の声

「わたしは、カメラがどこにあるのかな、とおもいました。いつもじこになっていないか、しらべてくれてありがとうございます。」

(福島市立杉妻小学校 2年生)

「町たんけんのおかげでいろいろわかりました。13日は町たんけんでお世話になりました。おかげでいろいろわかりました。」

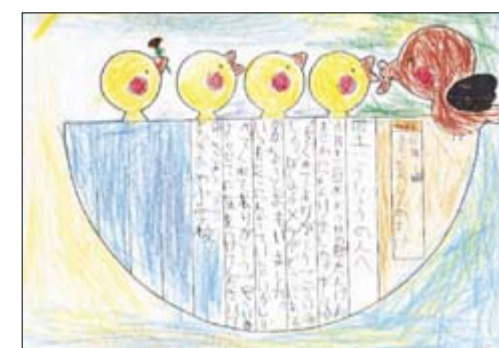
(福島市立杉妻小学校 2年生)



お世話になったお礼の手紙



うれしかったこと、分かったことを報告



次のステップに向けて

- 今後は町探険から一步広い視点になり、福島市全体の探険をするという学習ステップになっているので、さらに広い視野での疑問点や調べたいことなどを深めていく必要があります。
- 国土交通省が道路や川の安全のために仕事しているということを認識した上で、その道路や川を利用する人が、どういったことに気をつければならないかを併せて学んでいくことも重要です。